

進路通信

令和3年5月28日

第4号

押原中学校第3学年



テストの見直しは何のため？

中間テスト、全国学力・学習状況調査が終わりました。ほっとしている人も多いのではないのでしょうか？そして返却される中間テストに一喜一憂している人たちもいるでしょう。これから授業や自主学習でテストの見直しや取り組みの反省を行うと思いますが、何のために行うのか理解して行っていますか？

中間テストなどの定期テストは、授業内容の中から重要なこと、ポイントとなることを問題にして出題しています。そのため、テストで解けなかった、ということは「重要なところだけどもまだ身につけていないところ」ということになります。全国学力・学習状況調査の目的は「全国的な生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。取組を通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する」となっています。調査からどんなところができ、どんなところでどんなふうにつまずいているのか、ということを知って次に活かしていくということです。同時に先生たちも分析するとともに、結果から授業のやりかたを変えてみるなど指導改善にも生かしています。先生たちもテスト後は同じことをしているのです。お互いに「学力をつける」という目標に向けてしっかり取り組んでいきたいですね。



その① テストへの取り組み方を見直す

テストへの取り組み方を振り返ってみましょう。計画はいつごろ立てましたか？計画通りに進みましたか？うまくいかなかったことがある場合、その原因と次回への改善点を書き出してみましょう。例えば、「△△の教科は暗記を学習週間の最初から始めたけど作文が後回しになってしまい、時間が足りなかった。だから次回は最初から作文を書く時間を決めておき、その時間にはやるようにする」など取り組み方を見直すことも大事です。勉強の環境も併せて見直すのもいいですね。また、逆にうまくいったことはありませんか？「どうしてうまくいったのか」ということを考え、それを続けてみるとそれがいつの間にか当たり前になっているでしょう。どちらにしても、テスト後に見直しを重ねていけば自ずと実力はついてきます！

その② 問題の解きなおしを試みる

解きなおしをしていくと、テスト中に書き間違えたのか、勉強するところを間違えたのか、勉強が不十分だったのか、解き方が違っていったのかなど分析することができそうです。すると、自分のくせなどが分かり次への対策になります。「高校入試」という目標に向けて分析をすることは大事です。そして、合っていた問題も併せて、1.2週間後にもう一度自主学習などで解きなおしてみましょう。知識などが定着しているかがチェックできます。3年生という時期も考えれば、3年生の学習内容は効率よく定着させたいですね。

高校案内

①東海大学付属甲府高等学校特進コース A 授業公開・進学相談会

6月19日(土) 8時55分～11時45分(受付 8時30分～)
東海大学付属甲府高等学校大会議室

中学生・保護者(1名まで)対象

必ず、学校のHPから申し込みをしてください。入場制限がある場合があります。
(HPからの申し込みが困難な場合は、電話にて問い合わせてください。)

申し込みをした人は必ず担任にその旨を伝えてください。

②日本航空高等学校オープンキャンパス・ミニオープンキャンパス

オープンキャンパス 8月21日(土)

時間	内容
8:00～ 9:00	受付
9:00～10:00	教育方針説明およびアトラクション
10:00～ 15:50	フライトショー、昼食、体験授業、体験入部、学校見学
12:00～	入学相談

ミニオープンキャンパス 6月19日(土) 7月10日(土) 9月18日(土)

時間	内容
9:00～10:00	受付
10:00～11:00	教育方針説明
11:10～12:30	学校見学、昼食
12:30～	入学相談、クラブ見学、自由見学

別紙の「参加申込用紙」を担任へ提出してください。学校でまとめて申し込みます。
保護者も参加できます。

締め切り … 6月8日(火)



高校入試の過去問題集が5月31日締め切りになっています。

申し込もうと思っている人は締め切りを守ってください！